

11月3日に中央公民館で行われた
第31回「少年の主張」大会。
町内の小学5・6年生、中学生の代表者
15人が自らの思いを主張しました。

少年の主張



今伝えたいことがある

主張した子どもたち(敬称略・写真左上段から)

- ✳ 高田 湊斗(古月小)『ぼくといのち』
- ✳ 江口 條(剣南小)『日本の農業を思う』
- ✳ 松野 弥久(室木小)『熊本のボランティア活動』
- ✳ 大坪 陽人(新延小)『愛犬そらまめといっしょに』
- ✳ 柴田 浩揮(西川小)『自然スタイルの生活』
- ✳ 宮本 真那(剣北小)『わたしと家族』



小学校5年生の部



小学校6年生の部

主張した子どもたち(敬称略・写真左上段から)

- ✳ 山本 寛大(古月小)『力強く生きること』
- ✳ 村上なな子(剣南小)『私たちにできること』
- ✳ 西野 香音(室木小)『地域の方との関わりを深める』
- ✳ 藤原 彩希(新延小)『仕事に誇りをもつということ』
- ✳ 森 優和(西川小)『笑顔の力』
- ✳ 白木 春(剣北小)『未来のために私ができること』

主張した子どもたち(敬称略・写真左から)

- ✳ 栗田 萌花(鞍手中1年)『国の宝を守り抜く』
- ✳ 案納 和也(鞍手中2年)『もっとも貧しい
大統領から学んだこと』
- ✳ 木村 百花(鞍手中3年)『世界中の子供たち』



中学生の部

教育長講評

各学校・学年を代表して発表された15名の皆さん、お疲れ様でした。皆さんの深く豊かな人権感覚・人権意識に支えられた発表は、胸が温くなるような内容ばかりでしたね。私たち大人が忘れてしまいそうになっていた大事なものを、この発表会で改めて勉強させてもらったというようにも感じました。

変化の激しいグローバル化社会の真ただ中にある現代では、見聞きしたことをしっかりと考え、自らの思いを正しく伝える力がますます重要視されていきます。発表された皆さんは、そのような資質を十分に持たれていると頼もしく思いました。

発表者の皆さん、多くの来場者の皆さんの支えにより、第31回「少年の主張」大会が素晴らしい大会となりましたことを心から感謝申し上げます。